

宮崎漁業協同組合連合会

代表理事会長 宇戸田 定信

新年、明けましておめでとうございます。

皆様には、清々しい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルスが猛威を振るい宮崎県も大きな被害を受けました。ウイルス感染拡大防止の為、イベントの自粛や会食時の人数制限。不要不急の外出自粛など様々な制限がかかり、生活スタイルも大幅に変わりました。本会でもリモート会議等に対応すべく対策を講じたところです。一刻も早く沈静化し、元の生活に戻れるよう願っております。



昨年の県内の漁業につきましては、かつお一本釣り漁業においてビンナガ漁が好調で近年稀にみる豊漁となり、また、旋網漁業においてもマイワシ主体の漁獲が続き、数量・金額ともに昨年を上回りました。一方、その他の漁業では、新型コロナウイルスによる魚価安等の影響もあり、数量・金額ともに前年を下回る結果となりました。

このように、本県漁業は、昨年、新型コロナウイルスの影響を大きく受けましたが、本会では、これに対応するため、地域創生による販売促進事業を活用し、宮崎のおさかビジネス拡大協議会と連携し、宮崎県産の魚介類及びそれを加工した商品を産地直送品として県内外に販売する際の商品の送料の支援をいただきながら県内水産物の消費拡大を図る取り組みや県内各市町村へ協力を依頼し、学校給食への養殖魚の提供に取り組みました。また、販路回復・開拓や事業継続・転換のための機械設備の導入など漁業者の経営継続に向けた取り組みを支援する事業（経営継続補助金）についても取り組みました。

このように厳しい漁業環境や不安定な社会情勢が続く中、今こそ漁協、系統が一丸となって浜の活性化に取り組んでいかなければなりません。

今般、水産政策の改革において、水産資源の適切な管理と水産業の成長産業化が推進されております。今期「水産業成長産業化沿岸地域創出事業」が開始され積極的にこの事業を活用し、沿岸漁業者自らが資源管理の推進と収益性向上を両立させ、沿岸地域の構造改革に取り組んでおります。

本会におきましても、今年は、北浦製氷工場の新築工事を行う予定であります。この新工場の設置により、当該地区漁業者への安定供給はもとより、県内全製氷工場の氷生産・供給において、しっかりと漁業者を支える態勢が確立されるものと確信しております。

本会は、協同組合の理念の下、会員との連携を一層強化し、本県の漁業の発展を図るため、各事業を効果的に推進して参りたいと存じます。

最後になりましたが、皆様方のご健勝と航海の安全、豊漁をご祈念申し上げまして、新年の挨拶と致します。